

平成19年度播磨町スポーツ賞受賞者の皆さん

町のスポーツ振興に功績のあった方や、権威ある大会において優秀な成績を収めた選手及び指導者の表彰式が2月16日(土)、播磨町健康いきいきセンターで行われました。受賞者は次の方々です。

Table with columns: 氏名(敬称略), 所属, 種目. Lists award winners such as 金子 芽久美 (播磨南中学校) and 吉田 計子 (播磨町家庭バレーボール協会).



▲受賞者の皆さん。ますますのご活躍を期待します

旧北小ふれあいフェスタが催されました

昨年3月末に廃校となった播磨北小学校で3月1日(土)、ふれあいフェスタが開催されました。



▲一日中、大盛況でした

このフェスタは、廃校後の施設活用を考えようと発足した旧播磨北小学校施設運営協議会が主催し、体育館では、ふれあいスポーツ交流会、全日本口笛...

学童バザーに御協力ありがとうございました

第11回学童バザーが1月27日(日)、中央公民館大ホールで催されました。

家庭から持ち寄った品々や学童保育所に通う子どもたちが作ったピーズ、ミサンガなどのアクセサリーの販売、工夫いっぱいのゲームコーナーがあり、会場は多くの人でとてもにぎわいました。



▲たくさん来場してくれました

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル) 播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

4月の放送予定 (収録場所 加古川市)

前半 3月31日(月)~4月20日(日)

- 特集 仕事と子育ての両立をサポートします~播磨町の子育て支援~(播磨町)
●ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 4月21日(月)~5月4日(祝)

- 特集 男女協同参画センターのチャレンジ支援(加古川市)
●ゆうゆうライフ(稲美町)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後2時 ③午後7時30分 ④午後11時30分
火・木 ①午前9時30分 ②午後4時 ③午後9時30分
土・日 ①午前8時 ②午前11時30分 ③午後5時 ④午後9時

※4月から再放送回数が増えました。

わんぱくはりまっ子



くにきた な お 國方 渚央ちゃん(5歳)、み お 宮西 実桜ちゃん(1歳)

2人とも大好きだよ! (パパ・ママより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

ふと気がつくとも3月も下旬。毎年この時期になるとなんだかソワソワします。冬景色もすてきだけれど、空気ま...

いいね! はりま

町政 レポート No.15



▲多世代が集まり、ふれあいました

町のあちこちから、いかなごを炊いて「くぎ煮」をつくるおいしいそうな匂いが漂ってきます。いかなごが解禁になり、魚屋さんやスーパーに並び出すと播磨地方の春の訪れですね。

3月1日に旧播磨北小学校で「旧北小ふれあいフェスタ」が開催されました。模擬店やお化け屋敷、ダンス、口笛演奏、手作りおもちゃ、お茶席、うどん・そば手打ち体験、クイズラリー等々校舎や体育館、運動場などをフルに活用して多彩な催しが盛大に行われました。

2月25日に臨時議会を開催し、土山駅南に建設予定の「はりま複合交流センター」の実施設計予算案を上程しましたが、9対8で3度目の否決となりました。数年前、化学工場跡を取得した当時から検討されてきた建設計画であり、財政難であっても、町民が誇りを持てる緑豊かな播磨町らしい駅前として整備する必要があることから、財政状況や今後の維持管理も考慮し規模の縮小やデザインなど検討してきました。

播磨町長 清水ひろ子

# 平成20年度 郷土資料館特別展

## 「ジョセフ・ヒコ」

播磨町で生まれた「新聞の父」ジョセフ・ヒコが  
1858年にアメリカの市民権を得てから、今年で150周年となります。

### ① 新聞の父

今月は、なぜジョセフ・ヒコが「新聞の父」といわれるのかをご紹介します。



▲「海外新聞」を発行した地に建てられた記念碑。ここに、高い業績が刻まれています

#### 【ヒコ・クイズ】 この碑はどこにあるのでしょうか？

- ①神戸市中央区中山手通
- ②横浜市中区山下町
- ③長崎市南山手町

この3つの地は、どこもジョセフ・ヒコにゆかりのある地です。港の近くで、当時、外国の人々も活躍していた町です。写真の碑は、有名な中華街の一角にあります。関帝廟や「中華学院」がすぐそばにあり、観光客で最もぎわった地域の歩道にあります。この地は当時、居留地14番地で、今も「横浜市中区山下町14番地」という同じ番地のままです。ジョセフ・ヒコはここで、日本で最初に、民間で定期的な新聞を発行しました。

時は1864年6月。ちょうど、新撰組が池田屋を襲った月です。このあと、下関砲撃事件があるなど、尊皇攘夷の嵐が吹き荒れていたころです。そのよつな、いつ、身に危険が及んでもおかしくない中で、勇気ある発行となりました。ジョセフ・ヒコとしては、アメリカでの経験から、だからこそ新しい日本をつくる上で必要と感じて発行したといわれています。さらに、この「海外新聞」の評価を高くしたのは、発行にあたってのジョセフ・ヒコの姿勢が「童子にも読なん」(子どもでも、読める新聞を)とある点です。以後、新聞の基本姿勢として、今もなお、引き継がれています。

このように、日本初の新聞を発行し、今もなお受け継がれている新聞の基本姿勢を明示したことから、ジョセフ・ヒコは「新聞の父」といわれているのです。

(郷土資料館 田井恭一)



クイズの答 ② 横浜市中区山下町

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079 (435) 5000

絵ものがたり『ジョセフ・ヒコと洋式帆船の男たち』(播磨町ふるさとの先覚者顕彰会) 発売中2,500円



町の人口 3月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)

34,350人 (-26人)	男...16,846人 (-17人)	世帯数...13,294 (-8)
	女...17,504人 (-9人)	